

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		地すべり対策		事業名		急傾斜地崩壊対策等					建設部 砂防課						
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価					部局意見	技術管理室意見	現地 調査	申請	採択	備考	
						必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度							総合評価
1	ちくほくむら 筑北村	たけのした 竹之下	崩壊土砂防止柵工 L=290m	300,000	H34	A	A	B	A	B	A	地域防災計画に記載された避難所が特別警戒区域に含まれる。近隣に避難所の移転適地がなく、施設整備の重要性及び緊急性が高い。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
2	かわかむら 川上村	あきやま 秋山	重力式擁壁工 L=460m	230,000	H34	A	A	B	A	B	A	地域防災計画に記載された避難所が警戒区域に含まれる。平成25年9月には斜面の崩落があり、県道に土砂が流出した。近隣に避難所の移転適地がなく、施設整備の必要性及び重要性が高い。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
3	うえだし 上田市	ふみり 踏入	連続繊維補強土工 L=180m A=6,000m ²	200,000	H33	A	A	A	B	A	A	要配慮者利用施設が警戒区域内にあり、事業の必要性及び重要性が高い。あわせて地元からの要望もあり、早期の事業着手が望まれる。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
4	あづみのし 安曇野市	えきうえ 駅上	崩壊土砂防止柵工 L=200m	250,000	H36	B	B	A	A	A	A	がけ高さ145.5mの長大斜面であるが、既存施設の中抜け区間となっており、地元から強い要望がある。住民の合意形成も図られており、事業の効率性及び緊急性が高い。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
5	あづみのし 安曇野市	おおぐちざわ 大口沢	崩壊土砂防止柵工 L=185m 法面工 L=30m A=475m ²	250,000	H33	B	A	A	A	A	A	地域防災計画に記載された避難所が警戒区域に含まれる。近隣に避難所の移転適地がなく、施設整備の重要性が高い。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
6	いいだし 飯田市	たつおか 竜丘	法柵工 L=25m SL=20m A=500m ² 重力式擁壁工 L=150m	90,000	H32	B	B	A	B	B	B	要配慮者利用施設が特別警戒区域内にあり、早期の対応が望まれる。これまで県単費で検討を重ねており、事業の効率性が高い。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
7	みやたむら 宮田村	つつじが丘 つつじが丘	法面工 L=200m A=6,000m ²	300,000	H34	B	B	B	B	B	B	がけ下の人家4戸が特別警戒区域に含まれる。また、地域防災計画に記載された避難所が、がけ上の警戒区域に含まれる。近隣に避難所の移転適地がなく、施設整備の緊急性が高い。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
8	きそまち 木曾町	なかや 中谷	崩壊土砂防止柵工 L=170m	500,000	H34	B	B	B	B	B	B	地域防災計画に記載された避難所が警戒区域に含まれる。近隣に避難所の移転適地がなく、地元から強い要望がある。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
合 計			8箇所	2,120,000													

* 県単独事業の場合は申請の欄を削除して使用する。